

日本橋地域の冬のイベント『日本橋 冬灯り』 江戸情緒あふれる「美濃和傘」をモチーフにした 『和傘行燈』のライトアップを開催 2015年1月17日（土）より日本橋 仲通りにて

三井不動産株式会社は、日本橋地域において、2014年12月19日（金）より『日本橋 冬灯り』を開催中です。今回新たに1月17日（土）から本イベントの一環として『和傘行燈』のライトアップを開催いたします。

『和傘行燈』は、江戸時代からの歴史を誇る伝統工芸品として日本を代表する和傘「美濃和傘」をモチーフに、素材に竹と和紙の良さを生かした本物の「美濃和傘」を使用した装飾を特別に制作し、内側からLEDでライトアップするという、モダンな和の演出が見どころです。今回の装飾は、江戸時代三井家の歴史の始まりである「越後屋呉服店」で行っていた番傘の貸し出しサービスにより、江戸の街は「越後屋の番傘」でいっぱいになったというエピソードに倣ったもので、現在日本橋地域の「三井のオフィス」で展開している「室町めぐり傘」※同様、和傘の似合う江戸時代の日本橋を再現し、日本橋を訪れる方々に江戸情緒や親しみを感じていただけることを期待しております。

昨年12月19日より実施している、青竹を使った120個の灯籠で優しい光をともし「竹灯り」の装飾とともに、昼と夜で異なる日本橋の江戸情緒をお楽しみください。



< (左) 1/17より開催する『和傘行燈』イメージ / (右上・右下) 「竹灯り」イメージ >

【『和傘行燈』ライトアップ開催概要】

期間：2015年1/17（土）～2月末（予定）16：00～23：00

場所：仲通り（コレド室町1、コレド室町2の間に面する道路）

番傘貸出サービスに倣った「室町めぐり傘」

三井不動産グループでは、「三井のオフィス」にて突然の雨でお困りのオフィスワーカーへの貸傘サービス「室町めぐり傘」を実施しております。これは江戸時代三井家の歴史の始まりである「越後屋呉服店」で行っていた、営業中に俄か雨が降り出した際、顧客や通行人に越後屋の屋号が記してある番傘を貸し出すというサービスを再現したものです。

当時、夕立ちや俄か雨が降ると、顧客だけでなく、通行人までもがその傘をさし、江戸の街は「越後屋の傘」でいっぱいになったといわれ、そうした様子が、「江戸中を越後屋にしてにじ（虹）がふき」や、「ごふくやの傘 内心はかへさぬ気」という川柳で謳われました。当時も不心得者も当然いたが、越後屋はこの「番傘貸し」により、屋号を広めると同時に、その屋号に「お互いを信頼し合っていこう」という越後屋精神を裏打ちしたともいわれています。